

平成 27 年度 資格スクール大学

第 140 回日商簿記検定試験 模範解答

2 級

商 業 簿 記

第 1 問

	仕		訳	
	借 方 科 目	金 額	貸 方 科 目	金 額
1	当 座 預 金	100,000,000	資 本 金	50,000,000
			資 本 準 備 金	50,000,000
	創 立 費	500,000	現 金	500,000
2	本 店	700,000	当 座 預 金	700,000
3	売 上 割 戻	105,000	現 金	80,000
	売 上 割 戻 引 当 金	55,000	売 掛 金	80,000
4	満期保有目的債券	99,000,000	当 座 預 金	99,150,000
	有 価 証 券 利 息	150,000		
5	減 価 償 却 費	5,400,000	車 両 減 価 償 却 累 計 額	5,400,000

仕訳 1 組につき 4 点 合計 20 点
(配点は、当学院の予想です)

第 2 問

仕 訳 日 計 表

平成 27 年 6 月 1 日

借 方	元丁	勘 定 科 目	元丁	貸 方
658,000		現 金		379,000
30,000		受 取 手 形		53,000
540,000	省	売 掛 金	省	570,000
400,000		未 収 金		45,000
		(土 地)		450,000
39,000		支 払 手 形		80,000
285,000		買 掛 金		380,000
150,000		未 払 金		
		借 入 金		70,000
	略	売 上	略	540,000
380,000		仕 入		
35,000		支 払 手 数 料		
50,000		固 定 資 産 売 却 損		
2,567,000				2,567,000

< 総勘定元帳 >

受 取 手 形

平成 27 年	摘要	仕 丁	借 方	貸 方	借 / 貸	残 高
6	1	前月繰越	89,000		借	89,000
	"	仕訳日計表	30,000		"	119,000
	"	"		53,000	"	66,000

支 払 手 形

平成 27 年	摘要	仕 丁	借 方	貸 方	借 / 貸	残 高
6	1	前月繰越		52,000	貸	52,000
	"	仕訳日計表		80,000	"	132,000
	"	"	39,000		"	93,000

< 仕入先元帳 >

北 陸 商 店

平成 27 年	摘要	仕 丁	借 方	貸 方	借 / 貸	残 高
6	1	前月繰越		218,000	貸	218,000
	"	出金伝票	65,000		"	153,000
	"	振替伝票		120,000	"	273,000
	"	"	80,000		"	193,000

東 海 商 店

2

平成 27 年	摘要	仕 丁	借 方	貸 方	借 / 貸	残 高
6	1	前月繰越		155,000	貸	155,000
	"	出金伝票	90,000		"	65,000
	"	振替伝票		260,000	"	325,000
	"	"	50,000		"	275,000

 1 つにつき 2 点 合計 20 点

(配点は、当学院の予想です)

第 3 問

損 益 計 算 書			
自平成 26 年 4 月 1 日 至平成 27 年 3 月 31 日			(単位：円)
I 売 上 高		(16,982,450)
II 売 上 原 価			
1. 期 首 商 品 棚 卸 高	(3,316,600)	
2. 当 期 商 品 仕 入 高	(11,640,000)	
合 計	(14,956,600)	
3. 期 末 商 品 棚 卸 高	(3,212,000)	
差 引	(11,744,600)	
4. 棚 卸 減 耗 損	(10,000)	
5. (商 品 評 価 損)	(15,000)	(11,769,600)
(売 上 総 利 益)			(5,212,850)
III 販売費及び一般管理費			
1. 給 料	(3,515,000)	
2. 旅 費 交 通 費	(252,400)	
3. 水 道 光 熱 費	(325,000)	
4. 通 信 費	(260,000)	
5. 保 険 料		120,000	
6. 減 価 償 却 費	(90,000)	
7. (の れ ん) 償 却	(2,000)	
8. (貸 倒 引 当 金) 繰 入	(24,050)	
9. 貸 倒 損 失	(8,000)	
10. 退 職 給 付 費 用	(116,000)	(4,712,450)
(営 業 利 益)			(500,400)
IV 営 業 外 収 益			
1. 受 取 利 息	(19,900)	
2. (有 価 証 券 売 却 益)	(1,500)	(21,400)
V 営 業 外 費 用			
1. 支 払 利 息			(42,800)
(経 常 利 益)			(479,000)
VI 特 別 利 益			
1. (土 地 売 却 益)			(25,000)
VII 特 別 損 失			
1. (固 定 資 産 除 却 損)			(4,000)
税 引 前 当 期 純 利 益			(500,000)
法人税、住民税及び事業税			(185,000)
(当 期 純 利 益)			(315,000)

1 つにつき 2 点 合計 20 点
(配点は、当学院の予想です)

工 業 簿 記

第 4 問 (20 点)

問 1

	仕		訳	
	借 方 科 目	金 額	貸 方 科 目	金 額
(1)	材 料	1,152,000	買 掛 金	1,152,000
(2)	仕 掛 品	864,000	材 料	864,000
(3)	価 格 差 異	60,000	材 料	96,000
	数 量 差 異	36,000		

問 2

月次損益計算書(一部)

(単位: 円)

I 売 上 高	(1,500,000)
II 売 上 原 価	
当月製品製造原価	(1,404,000)
月末製品棚卸高	(234,000)
標準売上原価	(1,170,000)
原 価 差 異	(180,000)
売上総利益	(150,000)

問 1 仕訳 1 組につき 4 点

問 2 1 つにつき 2 点 合計 20 点

(配点は、当学院の予想です)

第 5 問 (20 点)

月 末 仕 掛 品 原 価 = 円完 成 品 総 合 原 価 = 円等級製品 A の完成品総合原価 = 円等級製品 B の完成品総合原価 = 円等級製品 C の完成品総合原価 = 円 1 つにつき 4 点 合計 20 点

(配点は、当学院の予想です)

【2 級解説】

第 1 問

1. 資本金：@ ¥40,000 × 2,500 株 × $\frac{1}{2}$ = ¥50,000,000
2. 本店側の仕訳

（ 買 掛 金 ）	700,000	（ 支 店 ）	700,000
-----------	---------	---------	---------
3. 売上割戻は売上値引・返品と同様に、売上高から控除します。なお、売上割戻引当金が設定されている場合は、これを取崩して充当します。
4. 満期保有目的債券：¥100,000,000 × $\frac{@ ¥99}{@ ¥100}$ = ¥99,000,000
 有価証券利息：¥100,000,000 × 1.825% × $\frac{30\text{日}}{365\text{日}}$ = ¥150,000
5. 減価償却費：¥30,000,000 × 0.9 × $\frac{80,000\text{km}}{400,000\text{km}}$ = ¥5,400,000

第 2 問

補助元帳(得意先・仕入先元帳)には、各伝票から個別に転記が行われます。そのため、伝票と補助元帳の記入内容を照らし合わせながら不明箇所を推定することができます。

各伝票からの仕訳は以下のとおりです。

入金伝票

（ 現 金 ）	658,000	（ 借 入 金 ）	70,000 ^{*1}
		（ 売 掛 金（東京） ）	180,000
		（ 未 収 金 ）	45,000
		（ 売 掛 金（山陽） ）	310,000
		（ 受 取 手 形 ）	53,000 ^{*2}

*1 仕訳日計表の借入金貸方合計¥70,000 より

*2 受取手形勘定の貸方¥53,000 より

出金伝票

（ 買 掛 金（北陸） ）	65,000 ^{*3}	（ 現 金 ）	379,000
（ 支 払 手 数 料 ）	35,000		
（ 買 掛 金（東海） ）	90,000		
（ 支 払 手 形 ）	39,000		
（ 未 払 金 ）	150,000 ^{*4}		

*3 北陸商店の仕入先元帳の記入より

*4 仕訳日計表の未払金借方合計¥150,000 より

振替伝票

（ 仕 入 ）	120,000	（ 買 掛 金（北陸） ）	120,000
（ 仕 入 ）	260,000	（ 買 掛 金（東海） ）	260,000 ^{*5}
（ 売 掛 金（東京） ）	220,000	（ 売 上 ）	220,000
（ 売 掛 金（山陽） ）	320,000	（ 売 上 ）	320,000

(買 掛 金 (北 陸))	80,000	(支 払 手 形)	80,000 ^{*6}
(受 取 手 形)	30,000	(売 掛 金 (山 陽))	30,000
(買 掛 金 (東 海))	50,000	(売 掛 金 (東 京))	50,000 ^{*7}
(未 収 金)	400,000	(土 地)	450,000
(固 定 資 産 売 却 損)	50,000		

*5 東海商店の仕入先元帳の記入より

*6 仕訳日計表の支払手形貸方合計¥80,000 より

*7 仕訳日計表の売掛金貸方合計¥570,000 との差額より

第3問

＜損益計算書の区分＞

売 上 高	主たる営業活動(本業)に係る損益が記載されます。よって、商品売買に関連する収益・費用を記載し、そこから計算される利益が営業利益となります。
売 上 原 価	
売 上 総 利 益	
販売費及び一般管理費	
営 業 利 益	
営 業 外 収 益	本業以外の取引にかかわる損益で每期経常的に発生するものが記載されます。よって、商品売買と関連しない財務・金融上の収益・費用等を記載し、そこから計算される利益が経常利益となります。
営 業 外 費 用	
経 常 利 益	
特 別 利 益	本業以外の取引にかかわる損益で臨時的・偶発的に発生するものが記載されます。
特 別 損 失	
税引前当期純利益	

〔資料Ⅱ〕

1. 仮払金について

(退 職 給 付 引 当 金)	49,000	(仮 払 金)	49,000
-------------------	--------	-----------	--------

2. 不渡手形について

(不 渡 手 形)	8,000	(現 金 預 金)	8,000
-------------	-------	-------------	-------

3. 売上返品について

(売 上)	15,000	(売 掛 金)	15,000
---------	--------	-----------	--------

〔資料Ⅲ〕

1. 貸倒引当金の設定について

(貸 倒 損 失)	8,000	(不 渡 手 形)	8,000
(貸 倒 引 当 金 繰 入)	24,050 *	(貸 倒 引 当 金)	24,050

決算整理後の貸倒引当金残高が貸倒見積高(受取手形及び売掛金期末残高の1%)になるように、決算整理前残高との差額を繰り入れます。

* 受取手形：¥188,000

売 掛 金：¥2,472,000－¥15,000＝¥2,457,000

∴(¥188,000＋¥2,457,000)×1%－¥2,400＝¥24,050

2. 未払費用について

(未 払 費 用)	355,000	(給 料)	320,000
(給 料)	335,000	(水 道 光 熱 費)	35,000
(水 道 光 熱 費)	40,000	(未 払 費 用)	375,000

3. 売上原価の算定について

(仕 入)	3,316,600 ^{*1}	(繰 越 商 品)	3,316,600
(繰 越 商 品)	3,212,000	(仕 入)	3,212,000 ^{*2}
(棚 卸 減 耗 損)	10,000 ^{*3}	(繰 越 商 品)	25,000
(商 品 評 価 損)	15,000 ^{*4}		

売上原価の算定仕訳は「仕入」勘定や「売上原価」勘定を使用する方法がありますが、いずれの場合も損益計算書上の表示は同じです。

*1 期首商品棚卸高：決算整理前「繰越商品」勘定より

*2 期末商品帳簿棚卸高： $\yen3,200,000 + \yen12,000 = \yen3,212,000$

*3 $\yen3,212,000 - \yen3,202,000 = \yen10,000$

*4 $\yen30,000 - \yen30,000 \times 50\% = \yen15,000$

4. 支払利息について

(支 払 利 息)	4,000 *	(前 払 費 用)	4,000
-------------	---------	-------------	-------

$$* \quad \yen2,000,000 \times 2.4\% \times \frac{1 \text{ ヲ月}}{12 \text{ ヲ月}} = \yen4,000$$

5. 減価償却について

(減 価 償 却 費)	7,500	(建 物 減 価 償 却 累 計 額)	4,000
		(備 品 減 価 償 却 累 計 額)	3,500

6. 建設仮勘定について

(固 定 資 産 除 却 損)	4,000	(建 設 仮 勘 定)	4,000
-------------------	-------	---------------	-------

7. 退職給付引当金について

(退 職 給 付 費 用)	116,000 *	(退 職 給 付 引 当 金)	116,000
-----------------	-----------	-------------------	---------

$$* \quad \yen590,000 - (\yen523,000 - \yen49,000) = \yen116,000$$

8. のれんについて

(の れ ん 償 却)	2,000 *	(の れ ん)	2,000
---------------	---------	-----------	-------

$$* \quad \yen14,000 \div (10 \text{ 年} - 3 \text{ 年}) = \yen2,000$$

9. 法人税等について

(法 人 税 等)	185,000 *	(未 払 法 人 税 等)	185,000
-------------	-----------	-----------------	---------

$$* \quad \yen500,000 (\text{税引前当期純利益}) \times 40\% - \yen15,000 = \yen185,000$$

第 4 問

問 1

- (1) 購入価額：@1,280 円×900kg=1,152,000 円
(2) 直接材料費標準消費額：@2,400 円×360 個=864,000 円
(3) 直接材料費実際消費額：@1,280 円×750kg=960,000 円
直接材料費総原価差異：864,000 円－960,000 円＝△96,000 円(借方差異)

@1,280 円	<table><tr><td colspan="2">価 格 差 異</td></tr><tr><td></td><td>数量差異</td></tr></table>	価 格 差 異			数量差異	標準消費量：2 kg×360 個＝720kg
価 格 差 異						
	数量差異					
@1,200 円		価格差異：(1,200 円/kg－1,280 円/kg)×750 kg ＝△60,000 円(借方差異)				
		数量差異：(720 kg－750 kg)×1,200 円/kg ＝△36,000 円(借方差異)				
	720 kg	750 kg				

問 2

売上高：@5,000 円×300 個＝1,500,000 円
当月製品製造原価：@3,900 円×360 個＝1,404,000 円
月末製品棚卸高：@3,900 円×60 個＝234,000 円
原価差異：直接材料費差異△96,000 円＋加工費差異△84,000 円＝△180,000 円(借方差異)

第 5 問

等級別計算では、まず完成品総合原価を計算し、この完成品総合原価を積数(＝等価係数×完成量)の比により各等級製品に按分します。

直接材料費		
月初 400 個	完成(6,000 個)	5,520,000 円 (差額)
560,000 円	400 個	
投入 6,400 個	5,600 個	—
5,120,000 円	仕損 600 個	
	月末 200 個	160,000 円

月末仕掛品原価

$$5,120,000 \text{ 円} \times \frac{200 \text{ 個}}{6,400 \text{ 個}} = 160,000 \text{ 円}$$

加 工 費 (数量は完成品換算量)		
月初 100 個	完成(6,000 個)	7,980,000 円 (差額)
180,000 円	100 個	
投入 6,600 個	5,900 個	—
7,920,000 円	仕損 600 個	
	月末 100 個	120,000 円

月末仕掛品原価

$$7,920,000 \text{ 円} \times \frac{100 \text{ 個}}{6,600 \text{ 個}} = 120,000 \text{ 円}$$

月末仕掛品原価：160,000 円＋120,000 円＝280,000 円

完成品総合原価：5,520,000 円＋7,980,000 円＝13,500,000 円

	A 製品	B 製品	C 製品	合計
等 価 係 数	1	2	4	
完 成 量	4,000 個	1,500 個	500 個	
積 数	4,000	3,000	2,000	9,000
完成品原価	6,000,000 円 *1	4,500,000 円 *2	3,000,000 円 *3	13,500,000 円

*1 完成品原価：13,500,000 円 $\times \frac{4,000}{9,000} = 6,000,000$ 円

*2 完成品原価：13,500,000 円 $\times \frac{3,000}{9,000} = 4,500,000$ 円

*3 完成品原価：13,500,000 円 $\times \frac{2,000}{9,000} = 3,000,000$ 円